

2023年4月3日

株式会社三菱UFJ銀行

## 「SP-NET」サービスの提供開始

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）は、クレジットカード専用ネットワークサービスである「SP-NET」（以下 本サービス）の提供を、2023年4月より開始いたしました。

本サービスは、決済端末とペイメントネットワークのダイレクト接続、および決済の支払い種別の絞込みによるシンプルな方式を実現したことにより、既存のペイメントネットワークと比べて決済プロセッシングコストを大幅に圧縮し、タッチ決済（非接触 IC クレジットカード決済）を中心とした少額決済市場でのキャッシュレス化を加速させる画期的なサービスです。

### 1. 背景

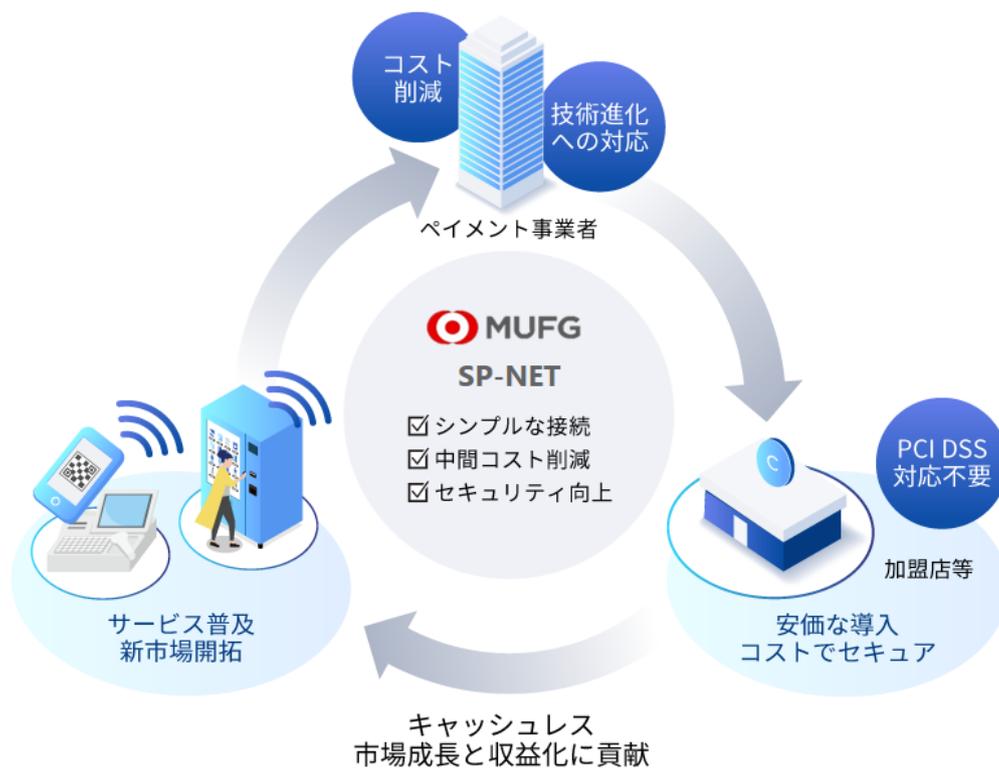
近年、NFC チップを搭載した非接触 IC クレジットカードがグローバルスタンダードとなりつつあり、日本でも急速に普及が進んでいます。「タッチ決済」はかざすだけで支払いが出来るため、手軽さ・スピードが求められる少額決済と相性が良く、キャッシュレスの裾野拡大への貢献が期待されていますが、そのためには少額決済領域におけるクレジットカード決済の導入ハードルを下げる必要があります。

しかしながら、少額でのクレジットカード取引は、クレジットカードビジネスの構造上、ペイメント事業者にとってコストが高く、不採算になることが多いことから、普及が進んでおりませんでした。また、2018年6月に施行された「改正割賦販売法」により、クレジットカード情報を保持する加盟店に対して「PCIDSSの準拠」または「カード情報の非保持化」が義務化され、ペイメント事業者や加盟店はセキュリティ対策への継続的な取り組みが必要不可欠となっています。

### 2. 特徴

本サービスは、少額決済領域におけるクレジットカード決済の導入ハードルの抜本的な引き下げを実現いたします。サービスの特徴は以下の通りです。

- ✓ 飲料自動販売機などのリーダーライターや加盟店の決済端末と本サービスをダイレクトに接続することで、中間事業者の情報処理センターなどを介する複雑な処理を不要とし、クレジットカード取引をペイメント事業者に中継します。
- ✓ 決済の支払い種別を一括払いのみに限定し、情報処理プロセスを簡素化することで、シンプルかつローコストなプロセッシングを実現しています。
- ✓ 決済処理の際、クレジットカード情報が加盟店のシステムを経由することなく、PCI DSS 認定済みの本サービス側で取引処理を行います。これにより、加盟店側の「カード情報の非保持化（外回り方式）」が実現されるため、加盟店側でのクレジットカード情報安全管理措置が不要となります。



### 3. 今後について

本サービスは大手飲料メーカーの飲料自動販売機へ導入頂いた実績があり、今年度は更に飲料自動販売機市場の大手パートナー企業へ導入いただく予定になっております。今後、飲料自動販売機のみならず、その他の自動精算機（アミューズメント施設、コインパーキング、食券販売機など）への展開を積極的に進めてまいります。また将来的には、自動精算機以外の少額タッチ決済と親和性の高い対面取引分野に対しても、本サービスを展開していく計画です。

当行は、デジタル技術の発展により多様化するお客さまの決済シーンを幅広くサポートし、キャッシュレスの裾野拡大に貢献してまいります。

以 上